

# 森の川自然散歩

2018年6月号

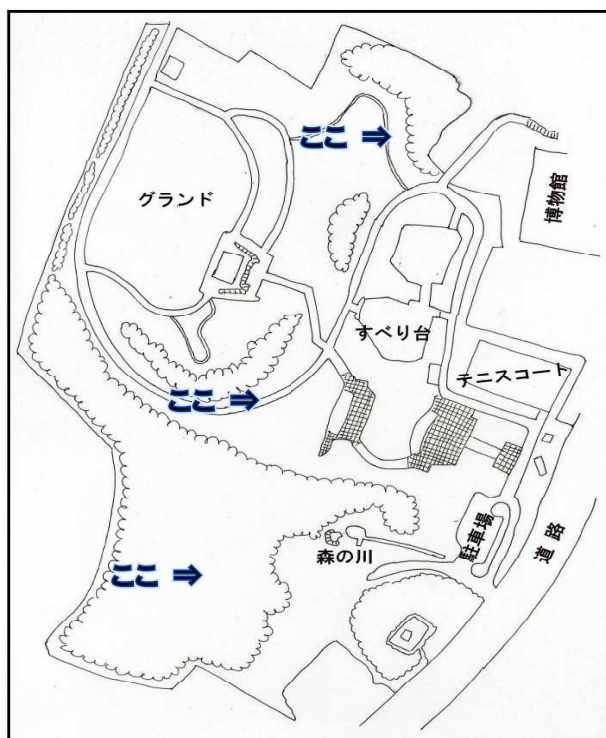


夜の公園、不気味な声の正体は？！

上：コンクリートの上を歩きまわるホオグロヤモリ。全体的に薄い体色に、白い斑点が目立ちます。尾の周りにはトゲトゲの輪があるのが特徴です。

## ホオグロヤモリ (メモ) ▶▶▶

- 夜になると、どこからともなく聞こえてくる「ケッ、ケッ、ケッ〜」という甲高い声。初めて聞いた県外の方は、例外なく驚きの声を上げ、そして聞いてきます。「あれ、何？」。
- 声の正体はホオグロヤモリ。全長は約100mmで、家の中や野外の林などにすんでいます。そして、おそらく沖縄で一番、人を驚かせているヤモリです。
- 森川公園では、4月下旬から鳴き声が聞かれ始め、秋までの間ずっと鳴き声が聞こえます。
- 街灯などに集まるガを狙って、灯の下などに集まっているのをよく見かけます。



# 森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。

## (16) 鳴かないヤモリを探してみよう

公園内には、もう一種類ヤモリがいます。こちらはホオグロヤモリみたいに大きな声で鳴くことはありません。でも、その分見つけるのは難しいかも。ガジュマルやアコウなどの幹に留まっていたり、クワズイモなどの葉の上に何気なくいることがあります。

ホオグロヤモリとの違いは、少し小さくてスマートであることと、尾の周りにトゲトゲの輪がないことです。でも、ホオグロヤモリの再生した尾はトゲトゲがなく、つるっとしているので注意が必要です。ヤモリの観察は夜間になります。一人では絶対行かないようにして、大人の人と一緒に楽しんでね。



上:ツワブキの葉の上にいるミナミヤモリ。

# 森川公園6月の花ごよみ

大きな葉は傘になるかも・・・  
～ クワズイモ ～

- 森の川の周辺や、ウガンヌカタの広場の周りに生えています。特に石門の後ろの森に多いです。
- 琉球列島の格島で普通に見られますが、庭木や、観賞用として、公園などに植えられていることもあります。
- 高さは1～2mですが、葉の長さは1m程になります。春から夏に白い花が咲き、夏の終わりに赤い実がつきます。
- タイモやサトイモにも似ていますが、その名のおり食べられません。



博物館で森川公園の見取り図をもらって、  
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。  
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1  
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

